

【線条体シンチグラフィ検査】の検査を受けられた患者さんおよび家族の皆様へ

福岡東医療センター 放射線科で以下の研究を実施しています。

この研究は、過去の診療情報を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」と呼ばれる学術活動です。過去に実施された検査の結果等の診療情報等を利用しますので、患者さんに新たにご負担いただく検査や治療はありません。また、学術学会で公表する場合も、個人情報の保護には十分配慮し、第三者には誰のものか一切わからないようにします。

患者さんにはご自身の診療情報が使用されることを拒否する権利があります。本研究の対象に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に使用されることを希望されない場合は下記の問い合わせ先にご連絡ください。既に学会発表が行われている場合はデータを削除できない場合がありますのでご了承ください。なお、研究協力を拒否された場合でも、患者さんが診療上で不利益を被ることはありません。

【研究課題名】	線条体シンチグラフィ検査における Putamen to Caudate Ratio の有用性に関する検討
【研究実施期間】	倫理委員会承認日～2027 年 3 月 31 日
【研究実施機関・研究責任者】	独立行政法人国立病院機構 福岡東医療センター 診療放射線科 研究責任者 上田 智弘
【対象となる方】	西暦 2024 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日に【放射線科】にて【線条体シンチグラフィ検査】を受けた患者様 162 名 【選択基準】 神経変性疾患疑いで検査を施行した患者様 【除外基準】 体動が認められた患者様/血管性パーキンソニズムと診断された患者様/診断名が確認できない患者様
【研究の意義、目的、方法】	本研究は、DATscan を用いた線条体シンチグラフィ検査から得られた画像を、DATView Report により解析し、算出される被殻尾状核比※:Putamen to Caudate Ratio (以下、PCR) という指標を使用して、パーキンソン病関連疾患の鑑別が可能であるかを検証することを目的としています。 研究デザインは後ろ向き観察研究とし、既に当該検査を受けた患者のデータを用い、PCR 値と診断との関連について、統計学的手法を用いて検討します。 ※被殻尾状核比とは、被殻と尾状核に設定された関心領域を用いて算出される数値になります。

【利用する情報の種類】	診断用画像(核医学検査)
【個人情報の保護】	研究に際して、生年月日、カルテ番号、住所、氏名などの個人が特定できる情報は収集しません。また、研究の結果を公表する際も個人が特定できないよう配慮いたします。
【問い合わせ先】	独立行政法人 国立病院機構 福岡東医療センター 研究責任者：放射線科 上田 智弘 住所：〒811-3195 福岡県古賀市千鳥 1-1-1 電話番号：092-943-2331（代表）